

補助金等調査表（チェックシート）

所属 生涯学習部 市民スポーツ課

（１）補助金の内容

名	称	東京ベイ浦安シティマラソン大会実行委員会補助金	
交 付 開 始 年 度	平成3年度	終了予定年度	
交 付 先	東京ベイ浦安シティマラソン大会実行委員会		
交付の目的・必要性	スポーツの振興と交流を図り、生涯を通じて、心身ともに健康で明るく、躍動するまちづくりを目指すことを目的とする。		
対象事業の内容	市内マラソンコースにて各部門(ハーフ/10km/3km)の開催に係る警備業務、電算処理業務、会場設営等の業務委託や、参加賞(Tシャツ)作成に係る経費など。		
形 態	<input checked="" type="checkbox"/> 事業補助 <input type="checkbox"/> 運営補助 <input type="checkbox"/> 混合補助 ⇒ 割合が大きいのは <input type="checkbox"/> 事業補助 <input type="checkbox"/> 運営補助		
直近の見直し状況	見直した時期		
	内 容		
交 付 申 請	受領書類	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画書 <input checked="" type="checkbox"/> 収支予算書 <input checked="" type="checkbox"/> その他（業者見積書）	
	確認内容	事業計画の内容 予算書の内容及び補助対象経費	
実 績 報 告	受領書類	<input checked="" type="checkbox"/> 事業報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 収支決算書 <input checked="" type="checkbox"/> その他（領収書写し）	
	確認内容	事業報告の内容及び成果 決算書の内容及び補助対象経費	

(2) 補助金見直しの基本視点に基づく評価

(※具体的な根拠指標には、設問に対する評価根拠となる、成果等を示す数値的な指標を記載すること)

公益性	補助事業が、客観的に見て、より広く市民等に利益をもたらす、または還元されている。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		広く社会に利益をもたらす	例年、6,000~7,000人のエントリーがあり、幅広い年齢の方々が個々の体力に応じてスポーツを楽しめ、体力の向上や達成感等の精神的充足を得られることから、生涯スポーツの推進が図られている。
公益性	補助事業の目的が、時代や社会情勢に合っている。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		ほとんど合っている	本事業は浦安市生涯スポーツ推進計画の4つの柱のうちの「するスポーツ」に該当し、多様なニーズに応じたスポーツ機会を提供する取り組みの一つである。
必要性	補助金を交付する形で、市が関与する妥当性がある。	評価	「ある」→妥当性について記入。 「ない」→妥当性がないにも関わらず補助する理由を記入。
		ある	本事業は浦安市生涯スポーツ推進計画の4つの柱のうちの「するスポーツ」に該当し、マラソンを通して市民の体力向上や健康増進、達成感等の精神的な充足を得られる機会を提供する必要があることから、市が関与するのは妥当である。
	補助金がない場合、団体等は自主財源で事業を行うことができない。	評価	「できる」→自主財源で事業実施可能にも関わらず補助する理由を記入。 「できない」→補助金がなければ事業を実施できない理由・具体的根拠を記入
		できない	参加者から参加料を徴収しているが、その財源だけでは事業を実施する経費を賅えないため。
	市民ニーズが高いものである。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		高い	例年、6,000~7,000人のエントリーがあり、幅広い年齢の方々が個々の体力に応じてスポーツを楽しめ、体力の向上や達成感等の精神的充足を得られる貴重な機会であり、ニーズが高い。
	市民ニーズに即している。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		即している	例年、6,000~7,000人のエントリーがあり、幅広い年齢の方々が個々の体力に応じてスポーツを楽しめ、体力の向上や達成感等の精神的充足を得られる貴重な機会であり、ニーズに即している。
	補助金の意義について、的確に説明できる。	評価	「できる」→誰に対しどのような効果があるか等について記入。 「できない」→説明できない理由について記入。
		できる	本事業は浦安市生涯スポーツ推進計画の4つの柱のうちの「するスポーツ」に該当し、多様なニーズに応じたスポーツ機会を提供する取り組みの一つである。
補助期限（終期）を設定している。	評価	「設定済」→設定年度とその根拠を記入。 「未設定」→設定しない理由と今後の見通しを記入。	
	未設定	マラソンを通して市民の体力向上や健康増進、達成感等の精神的充足を得られる機会を提供していくことが必要であるため、市が補助していくことは必要であると考え。また、今後も市民ランナーの受益者負担が大きくなることから難しいと考える。	
補助金申請に係る積算根拠が明確である。	評価	「はい」→積算根拠を何で確認しているかを記入。 「いいえ」→積算根拠が不明確である理由と今後の見通しを記入。	
	はい	収支予算書や業者から徴収した見積書等を確認している。	

施策との整合性	当該補助金は、市の政策目的や施策と整合している。	評価	「している」→どのような点で整合しているのか記入。 「してない」→整合してないにも関わらず補助する理由を記入。
		している	本事業は浦安市生涯スポーツ推進計画の4つの柱のうちの「するスポーツ」に該当し、多様なニーズに応じたスポーツ機会を提供する取り組みの一つである。
施策との整合性	補助事業が本市の特性を生かした取り組みである。	評価	「はい」→どのような点で特性を生かしているのか記入。
		はい	埋め立て地である本市の特性を生かし、フラットで安全なコースで、東京ディズニーリゾートや舞浜ホテル群周辺を、爽やかな風によって走ることのできるマラソン大会を実施している。
公平性	事業を実施できる団体が他にない。(複数存在する場合、当該補助金がその事業者だけに交付される合理的な理由がある。)	評価	「はい」を選んだ理由
		はい	市内スポーツ団体を総括する浦安市スポーツ協会をはじめ、陸上競技協会や各種ランナー団体、浦安市スポーツ推進委員、自治会連合会、交通安全協会や医師会などの委員による実行委員会で事業を実施しており、各部門の専門的な見地からの意見に基づき事業を実施しているため。
		「いいえ」の場合、補助金がその事業者だけに交付される合理的理由を記入。	
	補助対象経費に対して、補助事業者等にも応分の負担を求めるべき事業には、一定の適切な補助率や限度額が設定されている。	評価	「設定済」→補助率とその根拠を記入。 「未設定」→設定しない理由と今後の見通しを記入。
	未設定	一定の補助率ではないが、事業実施に関して参加者から参加料を徴収しており、直近の決算値では、補助対象経費39,630千円に対し、大会参加料収入28,691千円と7割程度を自主財源にて賄っている。	
効率性	補助目的に見合った成果や、施策実現に向けた効果がある。	効果の測定方法・具体的な根拠指標	
		当該事業に参加する市民の数及び年齢層	
	評価	評価理由	
	十分効果をあげている	例年、6,000~7,000人のエントリーがあり、幅広い年齢の方々が個々の体力に応じてスポーツを楽しめ、体力の向上や達成感等の精神的充足を得ている。	
	手法として、委託等の手法よりも、補助金を交付することがより合理的である。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
	はい	業務委託とした場合、総事業費として支出すべき金額が上がるため。	
国や県、本市において同様の補助事業がない。(※国県要綱に対し、上乘せ・横出しする補助事業は除く)	評価	「ある」の場合、同様な補助事業と両方存続させる理由を記入。	
	ない		
補助対象経費の明確化	補助金対象内外経費が明らかになっているか。	評価	「はい」→何で確認をしているか記入。 「いいえ」→明確にしていけない理由を記入。
		はい	収支予算書、決算書及び見積書、領収書等
	補助対象外経費を補助対象としていない。(対象としている場合は、明確な根拠を持っている。)	評価	「対象としている」の場合、費目及びその根拠規定と対象となる考え方を記入。(※費目とは、飲食費や慶弔費など)
	対象としていない		

※以下の項目は、団体補助金のみ記述。

団体補助金	団体の設置および活動目的が、補助事業からみて整合しているか。また、団体としての活動実態があるか。	評価	評価の理由
		はい	当該事業の円滑な運営を図ることから、各部門の専門的な見地に基づき事業を実施していくために、市内スポーツ団体を総括する浦安市スポーツ協会をはじめ、陸上競技協会や各種ランナー団体、浦安市スポーツ推進委員、自治会連合会、交通安全協会や医師会などの委員により組織された実行委員会である。
	補助事業の内容と成果について、交付団体においても対外的に情報公開を実施しているか。	評価	「はい」→情報公開の手法等について具体的に記入。 「いいえ」→実施できない理由と今後の見通しを記入。
		はい	当該事業の実行委員会事務局は市民スポーツ課であり、補助金の成果については各年度の決算主要成果報告書にて情報を公開している。
	団体内で、補助金の使途や決算などの監査機能が有効に機能していて、透明性等をもって運営されているか。	評価	「はい」→どのような監査手法で実施しているか記入。 「いいえ」→機能していない理由と今後の見通しを記入。
		はい	実行委員会内で2名監事を設置しており、決算時に決算書及び通帳、領収書の突合による監査を実施している。
補助金交付団体の自立性を促すことなどから、運営補助から事業補助へ移行を図っているか。	評価	「運営補助」の場合、事業補助に移行できない理由と今後の見通しを記入。 ※混合補助で実施している場合は、割合が大きい方を選択してください。	
	事業補助		
市職員が補助金交付団体の事務を行っているか。（行っている場合は合理的な理由があるか。）	評価	「行っている」の場合、合理的な理由を記入。	
	行っている		当該イベント事業は、市、教育委員会および実行委員会主催にて行われ、実行委員会設置要綱に事務局を市民スポーツ課とする規定となっているため。
繰越金	交付団体の補助事業会計において、補助金額以上の繰越金を計上している。 (※複数団体ある場合は、各団体を一覧化したものを別紙にて提出のこと)	評価	具体的な根拠指標
		いいえ	直近決算額における補助金額 _____ 円 繰越金額 _____ 円 { うち補助事業会計分 _____ 円 うち団体独自会計分 _____ 円
			繰越金額が生じた具体的な原因について記入。
	上記設問において、「はい」の場合、補助金の減額ないし、休止などの必要な対策を考えている。	評価	「はい」→具体的な対応策について記入。 「いいえ」→対応できない理由について記入。

(3) 国県要綱・近隣市補助金との比較を通じた評価

江戸川区では本市と同様の事業を実施しており、本市補助金額と比較すると少額となっている。大会規模（マラソン部門）の観点から本市よりも小規模の大会であることによるものだが、定員による参加者一人当たりの補助額を計算すると、本市のほうが補助額が大きいと考えられる。

(4) 補助金の課題

令和元年度に、公費負担を軽減する目的から、市外者の参加料金については一定程度値上げを行ったが、市民参加料も含め引き続き参加料の設定を検討していく必要がある。

(5) 所属長の総合評価

今後は、内容の充実に向け補助金の必要性・補助額について検討しながら継続していきたい。

(6) 補助金の今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま継続
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しをしたうえで継続
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> その他

その他の内容

現行継続の理由	
---------	--

見直しの時期	令和5年度
見直しの内容	自主財源等の資金調達の強化や補助対象内容の見直しを検討する。

廃止の時期	
廃止の理由	